

ままごと遊びからの広がり

ある日の戸外遊びでの一コマ

おままごと遊びをしている子どもたちはゴザを広げて遊び場を広げていっていました。

一人が靴を脱いでゴザに上がるとその他の子も自然と脱いで遊び始める。後から入ってくる子も靴を脱ぐ。



ゴザの他に椅子やタイヤを持ち寄り移動できる場所を増やしていく。それぞれがやりたいことに没頭していく中でお互いの遊びを受け入れながら新たに遊びを考えたり提案して遊びを広げている姿が見られました。

砂場まで広がると走ったり跳んだりできる広さに気づくとアスレチックのように楽しみ始めていました。一つずつ歩く子や大きくまたいで渡る子がいて一気に盛り上がり楽しんでいました。

別の遊びになったようにも見えますが子どもたちの中ではおままごと遊びの続き。ひとしきり楽しむとご飯を作りお客さんを呼んだり多方面に遊びが広がっていました。遊びの中で自然とルールを守ったり相手のことを考えて遊んでいます。子どもたちの“こうしたい”“たのしい”という気持ちを大切にしていきながら成長していく姿も見つけていきたいと思います。

